

2014年度		その他事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	渉外委員会	委員長	新妻 克隆	作成日	2013年	11月	9日
事業名称	1月例会 新春交流会	専務理事	中島 崇	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)、特別会員 栃木県、宇都宮市、宇都宮青年会議所シニアクラブ等の関係諸団体						
事業目的	我々JCの運動は、全てこの地域に住み暮らす人々のためではなくはなりません。そしてこの運動を波及させていくことは、市民の代表である我々の責務であります。2014年度のJC運動を円滑に行うためにも、ご来賓の関係諸団体をはじめとする一般市民の皆様や宇都宮JCシニアクラブ、各地会員会議所メンバーに対し、我々の運動をご理解いただき、明るい豊かな社会の創造と発展に向けての基盤をつくるのが目的です。						
事業の概要	新年を迎え、新たな体制となった宇都宮青年会議所の運動方針や事業内容等を関係諸団体に発信し、団体という枠を超えた街づくりを図るための場とします。						
参加動員数	243名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジターご来賓95名、シニアクラブ40名(特別会員含む)					
実施日時	2014年	1月	10日	18:30~21:00	実施場所	ホテルニューイタヤ	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法							
事業該当番号	他02	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	11	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項							
公益事業該当理由	本事業は						
	の向上を図るために						
	を実施するものであって						
	を通じて						
に寄与する点において							
公益目的事業に該当いたします。							
予算	内部事業資金	¥220,000	外部導入資金	¥0	合計	¥220,000	
その他の説明							

2014	年度	その他事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	政策委員会	委員長	中島 一晴	作成日	2013年	10月	30日
事業名称	2月例会 市長を囲む会	副理事長	朝田 尚宏	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)、特別会員						
事業目的	宇都宮市が目標としている将来像について講話していただくことで行政の考えを理解し、JCメンバーが一市民として地域を良くするという意識喚起をし、明るい豊かなまちづくりの実現に向けJCメンバーの当事者意識を醸成することを目的とします。						
事業の概要	宇都宮市長をお招きし、今後のまちづくりの方針についてご講演いただきます。						
参加動員数	114名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター					
実施日時	2014年	2月	27日	19:00~21:00	実施場所	ホテル丸治	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法							
事業該当番号	他01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	1	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項							
公益事業該当理由	本事業は の向上を図るために を実施するものであって を通じて に寄与する点において 公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥60,000	外部導入資金	¥0	合計	¥0	
その他の説明							

2014	年度	その他事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
会議名	全国大会招致会議	議長	羽石 匡志	作成日	2013年	10月	30日
事業名称	3月例会 全国大会招致セミナー	副理事長	小瀧 隆義	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)						
事業目的	全国大会主管に向けた招致理念や開催理念、大会のテーマの作成を行い、メンバー一人ひとりの大会招致に向けた意識の変革や団結力の向上、さらに会員資質の向上を目的とします。						
事業の概要	過去の大会を主管した会員会議所が実際に行ってきたことに対する検証を行い、開催地域の魅力の発信方法について検討します。また過去に主管を経験した青年会議所メンバーを講師としてセミナーを行い、主管にともなう様々な経験談を共有し、LOMとして主管に向けて歩むべき方向性を明確にします。						
参加動員数	114名	宇都宮JCメンバー: 108/135名中(80%)、ビジター					
実施日時	2014年	3月	28日	19:00~21:00	実施場所	コンセーレ アイリスホール	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法							
事業該当番号	他01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	1	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項							
公益事業該当理由	本事業は の向上を図るために を実施するものであって を通じて に寄与する点において 公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥150,000	外部導入資金	¥0	合計	¥150,000	
その他の説明							

2014 年度		その他事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
会議名	法令会計審査会議	議長	廣田 勝義	作成日	2013年	10月	30日
事業名称	4月例会 法令会計事業	専務理事	中島 崇	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)						
事業目的	法令や会計に関する講話を通して、JCメンバーの資質の向上を図り、青年会議所の実施する事業が今以上に市民から期待されるものとなることを目的とします。						
事業の概要	法令や会計に関する専門家を講師として迎えメンバーに向けて講話をしていただきます。						
参加動員数	114名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター					
実施日時	2014年	4月	28日	19:00~21:00	実施場所	コンセーレ アイリスホール	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法							
事業該当番号	他01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	1	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項							
公益事業該当理由	本事業は の向上を図るために を実施するものであって を通じて に寄与する点において 公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥150,000	外部導入資金	¥0	合計	¥150,000	
その他の説明							

2014	年度	公益目的事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	青少年育成委員会	委員長	相馬 匡史	作成日	2013年	11月	7日
事業名称	5月例会 第33回わんぱく相撲うつのみや場所	副理事長	朝田 尚宏	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者) 宇都宮市在住及び宇都宮市近郊の小学生(出場者)、出場者父兄・家族						
事業目的	わんぱく相撲うつのみや場所と通じて、次世代を担う青少年達が努力することや思いやりを持つ心を育むことで地域に活力を与え、地域社会を創造していく青少年の育成を目的とします。						
事業の概要	小学生を対象とした第33回わんぱく相撲うつのみや場所を開催します。学年ごとのトーナメント方式の個人戦や学校・地域ごとの団体戦を実施します。						
参加動員数	620名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター 出場者:200名、出場父兄、家族300名					
実施日時	2014年	5月	18日	9:00~17:00	実施場所	栃木県総合運動公園相撲場	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	宇都宮市内の各学校、スポーツクラブ、自治会、商店街への呼びかけ、教育委員会、各メディアへの働きかけ、宇都宮JCホームページでの応募						
事業該当番号	公01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	8	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項	1.相撲というスポーツを通じて次世代を担う青少年の基礎体力の向上と勝ち負けだけでなく、礼を学び、努力することや思いやりを持つ心の豊かさを持つ青少年育成を図ります。 2.本大会は財団法人相撲連盟等の競技団体の協力を得て、公式ルールに則り運営し、当該スポーツの普及、競技の機会を提供するものです。 3.当法人の主催する協議会は公益社団法人東京青年会議所の主催するわんぱく相撲全国大会の予選(地区大会)をかねるため、当該大会の規則に準じて運営されます。よって地区大会においては対象年齢の希望者は誰でも参加できると定められているため、特に出場者の選定等は実施していません。						
公益事業該当理由	本事業は		地域青少年の教育・豊かな心		の向上を図るために		
	地域の小学生を対象とした相撲大会		を実施するものであって				
	相撲という競技		を通じて				
	青少年の心身の成長		に寄与する点において				
公益目的事業に該当いたします。							
予算	内部事業資金	¥1,000,000	外部導入資金	¥0	合計	¥1,000,000	
その他の説明							

2014	年度	その他事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	JC運動発信委員会	委員長	豊崎 道教	作成日	2013年	11月	2日
事業名称	6月例会 第64回JCI ASPAC山形大会	専務理事	中島 崇	確認日	2013年	11月	10日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)						
事業目的	今年度はASPACが山形で開催されます。この事業は世界、国家レベルでの運動に触れることのできる貴重な機会です。日本開催という数年に一度しかないチャンスを我々の例会と位置付けることでLOM益につなげます。また、宇都宮JCメンバーが世界、国家レベルでの運動に触れることで、物事を大局的に捉えることのできる思想を身につけ明るい豊かなまちづくりの実現に繋げることを目的とします。						
事業の概要	山形県にて開催される第64回JCI ASPAC山形大会へ参加し、アジア各国のメンバーと交流を図ります。						
参加動員数	114名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター					
実施日時	2014年	6月	4~7日	9:00~17:00	実施場所	山形県	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法							
事業該当番号	他02	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	11	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項							
公益事業該当理由	本事業は						
	の向上を図るために						
	を実施するものであって						
	を通じて						
に寄与する点において							
公益目的事業に該当いたします。							
予算	内部事業資金	¥150,000	外部導入資金	¥0	合計	¥150,000	
その他の説明							

2014 年度		その他事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
会議名	協働連携特別会議	議長	篠崎 達彦	作成日	2013年	10月	30日
事業名称	7月例会 会員スキルアップ事業	副理事長	須山 裕史	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)						
事業目的	明るい豊かなまちづくりの実現に向けJCメンバーのスキルアップを目的とします。						
事業の概要	まちづくり・地域経済にかかわる者として資質向上を目指しテーマを設定します。テーマについて講師を招いて研修事業を実施します。						
参加動員数	114名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター					
実施日時	2014年	7月	5日	19:00~21:00	実施場所	コンセーレ	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法							
事業該当番号	他01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	1	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項							
公益事業該当理由	本事業は						
	の向上を図るために						
	を実施するものであって						
	を通じて						
に寄与する点において							
公益目的事業に該当いたします。							
予算	内部事業資金	¥100,000	外部導入資金	¥0	合計	¥100,000	
その他の説明							

2014 年度		公益目的事業		事業計画書		
所属 公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	宮まつり委員会	委員長	鈴木 善勝	作成日	2013年	10月 30日
事業名称	8月例会 第39回ふるさと宮まつり	副理事長	福田 智之	確認日	2013年	11月 16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者) 一般市民					
事業目的	本事業は、第39回ふるさと宮まつりを安全に運営することにより、市民相互の交流の広場をつくり、相互の「心」のふれあいが生まれることで、市民の郷土愛の高揚、郷土文化の継承に努め、宇都宮市の明るい豊かな地域づくりを目指すことを目的とする事業です。					
事業の概要	本事業は開催委員会が中心となって企画立案し、参加団体と協働で市内大通りを中心にさまざまな祭事を開催するものです。 催事の一例として宇都宮の郷土玩具「黄ぶな」への絵付け体験、幼稚園児・保育園児のパレード、神輿を担ぐ機会のない子供たちへの神輿体験などを行います。 これらの催事は中心市街地の活性化および伝統芸能の継承等に繋がります。					
参加動員数	約500,000名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター 一般参加市民約25万人/日				
実施日時	2014年	8月	2～3日	9:00～21:00	実施場所	であいとふれあいの広場(本町交差点～上河原交差点)他
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	ふるさと宮まつり開催委員会と通じてHP、ポスター、テレビ等の媒体により一般市民への周知を図り参加募集を行います。					
事業該当番号	公01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業	
分類	5	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間	
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会	
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他		
分類のチェック事項	であいとふれあいの広場に自由に来場し、参加することができる事業です。 ポスターやHP、広報うつのみや等にて広く一般市民に開催を周知します。あわせて各部会(みこし部会、パレード部会、お囃子部会等)を通じて参加団体の呼びかけを行います。このように不特定かつ多数の市民と参加団体が時間と場所を共有することにより、テーマである「であいとふれあいの広場」を実現することができます。 参加団体の選定は各部会内や開催委員会内で定める規定により厳正なる協議を重ねて決定いたします。					
公益事業該当理由	本事業は		地域コミュニティの活性化・郷土愛	の向上を図るために		
	ふるさと宮まつりの運営		を実施するものであって			
	ふるさと宮まつり		を通じて			
	中心市街地の活性化および伝統芸能の継承		に寄与する点において			
公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥6,672,000	外部導入資金	¥0	合計	¥6,672,000
その他の説明						

2014 年度		公益目的事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	青少年育成委員会	委員長	相馬 匡史	作成日	2013年	11月	7日
事業名称	9月例会 第4回宇都宮ストリートダンス選手権	副理事長	朝田 尚宏	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者) 宇都宮市及び宇都宮市近郊の小学生、中学生、高校生(出場者)、出場者父兄・家族、一般市民(参加者)						
事業目的	ストリートダンス選手権の開催し自己表現の重要性や柔軟性、基礎体力の向上を再認識していただきます。また父兄・家族、市民の方々が応援を通じて心のふれあいを実感していただくことで地域らしさを再確認していただき帰属意識の醸成を目的とします。						
事業の概要	市内会場にて宇都宮市内及び宇都宮市近郊の5歳から18歳までの子ども達を対象として、グループ対抗のストリートダンス選手権を開催いたします。 専門性の高い審査員を招き実際にダンスの披露、上位入賞者へのトロフィー贈呈などをしていただくことでダンスに対する興味や関心を喚起します。						
参加動員数	620名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター 出場者:100名(約18チーム)、保護者:200名、一般市民:200名					
実施日時	2014年	9月	13日	9:00~15:00	実施場所	オリオンスクエア	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	ダンススクール、スポーツクラブ・施設、各学校のダンス部、HP、フライヤー、ポスター等を配布し周知を図ります。						
事業該当番号	公01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	8	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項	1.ストリートダンスを通して青少年の育成に寄与することを事業計画にて位置づけ、事業の広報を行うにあたり明らかにします。また参加者の募集に関しては教育機関及び関係団体、行政等の協力のもと大会開催前に広く周知を図ります。 2.当事業はダンスの普及およびダンスの練習を日々繰り返している多くの青少年へのステージ出場機会を提供するものであり、ダンスを通じて青少年の育成を目的としています。 3.プロダンサーや専門団体の協力を経て公正なルールのもと運営し、出場者の選定や受賞の選考においても事前に公表した内容にもとづき公正に行います。						
公益事業該当理由	本事業は 地域青少年の育成と郷土愛 の向上を図るために 青少年を対象としたストリートダンス選手権 を実施するものであって ダンス を通じて 青少年の心身の成長 に寄与する点において 公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥1,300,000	外部導入資金	¥0	合計	¥1,300,000	
その他の説明							

2014 年度		公益目的事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	地域交流委員会	委員長	木村 武士	作成日	2013年	10月	30日
事業名称	10月例会 心のふれあい事業	副理事長	福田 智之	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)、宇都宮市民 被災地JCメンバー、被災地の人々						
事業目的	被災地でのボランティア活動を通して復興への一助となり、事業ならびに構築までの交流によって共助の精神を培うことにより災害時の連携・相互支援方法を確立し、宇都宮が被災した時の受援力の強化に繋げることを目的とします。						
事業の概要	被災地青年会議所の協力のもとボランティア活動を実施する地域を公募します。活動内容構築のため一般市民を公募し、被災地青年会議所と共同で被災地にてボランティア活動を行います。被災地JCメンバーから災害時の状況等を学び連携・相互支援方法等を作成いたします。						
参加動員数	155名	宇都宮JCメンバー:109/136名中(80%)、ビジター 被災地JCメンバー(30名)、一般市民(10名)					
実施日時	2014年	10月	4日	9:00~19:00	実施場所	被災地および宇都宮	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	広報誌、宇都宮JCホームページ、ポスター等を使っての告知を検討しています。						
事業該当番号	公02	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	11	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項	1. 被災地青年会議所とのボランティア活動から共助の精神を培い、連携・相互支援方法を確立し宇都宮市の受援力強化を目的とします。 2. ア)被災地全体を公募の対象としている。 イ)被災地の青年会議所メンバーと連携し活動を行っている。 ウ)該当項目なし エ)業界団体の販売促進、共同宣伝になっていない						
公益事業該当理由	本事業は 宇都宮市の受援力 の向上を図るために 共助の精神を培うための被災地におけるボランティア活動 を実施するものであって 災害時の連携・相互支援方法の確立 を通じて 災害に強い社会の構築 に寄与する点において 公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥1,400,000	外部導入資金	¥0	合計	¥1,400,000	
その他の説明							

2014 年度		公益目的事業		事業計画書		
所属 公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	政策委員会	委員長	中島 一晴	作成日	2013年 10月 30日	
事業名称	11月例会 まちづくり事業	副理事長	朝田 尚宏	確認日	2013年 11月 16日	
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者) 一般市民					
事業目的	まちづくりをテーマとした市民参加型のフォーラムの開催を通じて、まちづくりに関して一般市民として取り組んできたJCメンバーから一般市民へまちづくりの想いを伝えることによって、まちづくりへの参画意識と、まちづくりに対する当事者意識の向上を目的とします。					
事業の概要	まちづくりをテーマとした市民参加型のフォーラムを行政の方々も交えて開催します。					
参加動員数	615名	宇都宮JCメンバー:108/135名中(80%)、ビジター一般市民(約500名)				
実施日時	2014年 11月 30日 19:00~21:00	実施場所		栃木県総合文化センター		
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	広報誌への掲示、宇都宮JCホームページにてバナーの作製、ポスター、フライヤーの配布					
事業該当番号	公01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業	
分類	1	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間	
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会	
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他		
分類のチェック事項	当該フォーラムは公益目的である旨を事業計画で位置づけて一般公開で行い、ポスター、チラシ、広報誌等を通して日時や内容を広報することにより事業趣旨を明らかにし参加者を募集します。					
公益事業該当理由	本事業は、まちづくりに対しての市民の参画意識と当事者意識の向上を図るために					
	市民参加型のフォーラムを実施するものであって					
	講話やパネルディスカッションを通じて					
	明るい豊かな社会の実現に寄与する点において公益目的事業に該当いたします。					
予算	内部事業資金	¥1,300,000	外部導入資金	¥0	合計	¥1,300,000
その他の説明						

2014年度		その他事業		事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所					
会議名	会員拡大会議	議長	太城 将雄	作成日	2013年	10月 30日
事業名称	12月例会 2014総括・卒業式	副理事長	木村 英敏	確認日	2013年	11月 16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)					
事業目的	一年間の総括事業として次年度への橋渡しとなる事業の設営と本年度卒業するメンバーを祝うことを目的とします。					
事業の概要	単年度制の本組織において理事長に最後のスピーチをしていただきます。また次年度理事長へのプレジデンシャルリースの伝承、卒業生のスピーチを頂き厳かでメンバーの心に残るような例会とします。					
参加動員数	112名	宇都宮JCメンバー: 108/135名中(80%)、ビジター				
実施日時	2014年	12月	6日	18:00~22:00	実施場所	ベルヴィ宇都宮
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法						
事業該当番号	他01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業	
分類	1	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間	
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会	
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他		
分類のチェック事項						
公益事業該当理由	本事業は					
	の向上を図るために					
	を実施するものであって					
	を通じて					
に寄与する点において						
公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥500,000	外部導入資金	¥0	合計	¥0
その他の説明						

2014	年度	その他事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	地域交流委員会	委員長	木村 武士	作成日	2013年	10月	30日
事業名称	姉妹JC交流事業	副理事長	福田 智之	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者)						
事業目的	姉妹JCであるホノルルチャイニーズJCとの国際的な連携を推進するため親善を高めることを目的とする。						
事業の概要	ホノルルにあるホノルルチャイニーズJCと連絡方法の確立や意思の疎通を行い交流し信頼関係の構築を図ります						
参加動員数	82名	宇都宮JCメンバー:80/136名中、ビジター					
実施日時	2014年	4月	3~6日	09:00~20:00	実施場所	ホノルル	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法							
事業該当番号	他02	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	11	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項							
公益事業該当理由	本事業は						
	の向上を図るために						
	を実施するものであって						
	を通じて						
に寄与する点において							
公益目的事業に該当いたします。							
予算	内部事業資金	¥150,000	外部導入資金	¥0	合計	¥150,000	
その他の説明							

2014 年度		公益目的事業			事業計画書		
所属 公益社団法人宇都宮青年会議所							
委員会名	青少年育成委員会	委員長	相馬 匡史	作成日	2013年	11月	7日
事業名称	第30回わんぱく相撲全国大会	副理事長	朝田 尚宏	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー(青少年育成委員会) 第33回わんぱく相撲うつのみや場所優勝者(4~6年生)、出場者父兄・家族						
事業目的	全国大会へ子ども達に積極的に参加してもらい、地域を代表して参加している事を経験することで地域への帰属意識の醸成を目的とします。また、両国国技館において相撲をとることで歴史や文化を体験していただきます。さらには相撲を通じて礼儀、礼節を学んでいただくことを目的とします。						
事業の概要	第30回わんぱく相撲全国大会にうつのみや場所にて優勝した対象者に参加していただきます。また委員会メンバーが引率をし1泊2日の日程にて相撲部屋への宿泊と両国国技館で行われる全国大会に参加していただきます。						
参加動員数	約8名	宇都宮JCメンバー(青少年育成委員会) 出場者:3名、家族					
実施日時	2014年	8月	3日	09:00~15:00	実施場所	両国国技館	
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	全国大会実行委員を中心にHP、テレビ、ポスター、メディア等で周知を図ります						
事業該当番号	公01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	8	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項	うつのみや場所の学年優勝者が決定次第、第30回わんぱく相撲全国大会への案内をします。また全国大会実行委員会を中心にHP、テレビ、ポスター、メディア等で周知を図ります。全国大会に出場することで相撲に対するさらなる向上心を持つことができます。審判に関しては公認審判員の資格をもった者が公平に審判を行います。						
公益事業該当理由	本事業は		地域青少年の教育・豊かな心		の向上を図るために		
	小学生を対象とした全国相撲大会		を実施するものであって				
	相撲という競技		を通じて				
	青少年の心身の成長		に寄与する点において				
公益目的事業に該当いたします。							
予算	内部事業資金	¥100,000	外部導入資金	¥0	合計	¥100,000	
その他の説明							

2014 年度		その他事業		事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所					
委員会名	JC運動発信委員会	委員長	豊崎 道教	作成日	2013年 11月 2日	
事業名称	報告事業	専務理事	中島 崇	確認日	2013年 11月 10日	
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター					
事業目的	2014年度の出向者は公益社団法人日本青年会議所、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会栃木ブロック協議会と例年に比べ、さらに多くのメンバーを対外に輩出しております。今年度、各地において青年会議所の情報発信、運動の展開を行ってきました。多くの学び、気づきを得たものをメンバーで共有し今後の運動の発展へとつなげていくことを目的とします。					
事業の概要	出向者が行ってきた活動、情報の発信や展開をメンバーに報告していただき次年度への運動へとつなげていきます。					
参加動員数	115名	宇都宮JCメンバー109名/136名(80%)、ビジター				
実施日時	2014年 11月 28日 19:00~21:00	実施場所	ホテル丸治			
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	/					
事業該当番号	他01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業	
分類	11	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間	
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会	
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他		
分類のチェック事項	/					
公益事業該当理由	本事業は		の向上を図るために			
			を実施するものであって			
			を通じて			
			に寄与する点において 公益目的事業に該当いたします。			
予算	内部事業資金	¥50,000	外部導入資金	¥0	合計	¥50,000
その他の説明						

2014	年度	公益目的事業			事業計画書		
所属	公益社団法人宇都宮青年会議所						
委員会名	JC運動発信委員会	委員長	豊崎 道教	作成日	2013年	11月	2日
事業名称	PR事業	専務理事	中島 崇	確認日	2013年	11月	10日
事業対象者	宇都宮JCの公益各事業における対象の一般市民						
事業目的	地域に向けて宇都宮青年会議所の存在意義や魅力を伝えることにより、私たちの運動に多くの市民の方々の賛同をいただき、市民と共に地域の活性化と発展につなげることを目的とします。						
事業の概要	PR事業の協力媒体として栃木リビング新聞社、下野新聞社まちなか支局から協力をいただき、広く地域に向けて、宇都宮JCの取り組みや目的を伝え賛同を促します。また、当青年会議所2014年度実施予定の公益事業において、各種例会、事業のPRを協力メディアを通じて告知や記事の掲載を行います。						
参加動員数	該当する公益の事業計画による						
実施日時	通年実施			実施場所	宇都宮市及び周辺地域		
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	該当する公益の事業計画による						
事業該当番号	公01	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	11	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項	本事業では宇都宮青年会議所が行う公益の各事業について、メディアを介した広告宣伝、PRを行うことで多くの人の参加を増進するものです。公益事業の宣伝であり、何らかの販売促進や他の宣伝はいたしません。上記の方法での広告宣伝は不特定多数の市民が不公平なく情報を知ることができます。						
公益事業該当理由	本事業は 宇都宮青年会議所の各公益事業への参加人数 の向上を図るために						
	PR活動 を実施するものであって						
	市民の参加、協力、賛同 を通じて						
	地域の活性化と発展につなげることに寄与する点において 公益目的事業に該当いたします。						
予算	内部事業資金	¥700,000	外部導入資金	¥0	合計	¥700,000	
その他の説明							

2014 年度		公益目的事業			事業計画書		
所属 公益社団法人宇都宮青年会議所							
委員会名	地域交流委員会	委員長	木村 武士	作成日	2013年	10月	30日
事業名称	災害発生時対応	副理事長	福田 智之	確認日	2013年	11月	16日
事業対象者	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者) 災害発生地域の被災者(支援対象)						
事業目的	災害発生時に人的・物的支援活動を目的とします。						
事業の概要	災害発生時には被害内容に応じて、人的支援や物的支援を行います。また被災地支援の一環としての募金活動など災害規模や被災地ニーズなどの情報を全国組織である青年会議所のネットワークを利用して支援を行います。						
参加動員数	災害規模に応じて災害発生時に計画	宇都宮JCメンバー、ビジター(入会希望者) 支援対象地域の被災者					
実施日時	発生した災害に応じてその都度計画			実施場所	発生した災害に応じてその都度計画		
不特定多数の参加機会の確保の有無具体的な方法	災害が発生した地域の青年会議所メンバーを通じ、その地域の人々への支援を行います。						
事業該当番号	公02	公01:まちづくり事業	公02:災害対策事業	他01:会員対象研修事業	他02:親善連携事業		
分類	11	1・講座、セミナー、育成	2・体験活動等	3・調査・資料収集	4・キャンペーン・〇〇月間		
		5・展示会・ショー	6・助成	7・表彰・コンクール	8・競技会		
		9・自主公演	10・主催公演	11・その他			
分類のチェック事項	被災者のために行う活動であり、物的、精神面の両面から被災地の1日も早い復興に寄与する事業です。 支援する対象となる地域は被災地全体であり、その被災地の中においては限定性はありません。また青年会議所がもつネットワークやボランティアセンターとの連携によって被災地のニーズに応じた事業を行います。 その際、物質等の支援において特定の団体の販売促進や宣伝にはなりません。						
公益事業該当理由	本事業は			被災地域での生活の質			の向上を図るために
	復興に繋がる各種支援事業			を実施するものであって			
	迅速な対応による災害復旧			を通じて			
	被災者、1日も早い復興			に寄与する点において			
公益目的事業に該当いたします。							
予算	内部事業資金	¥50,000	外部導入資金	¥0	合計	¥50,000	
その他の説明							